

令和4年1月1日

常 照

(1)



一月の常例布教（ご法話）のご案内

○前期 二月七日（月）～十一日（金）

休 座

○後期 二月十三日（日）～十六日（水）

北海道教区 後志組 無量寿寺

講師 朝山 明彦 師

○場所 小樽別院内

○時間 午後二時（法要終了後）～午後三時半

浄土真宗のみ教えについて布教使にご法話ををして頂きます。
どうぞお誘い合わせいただき、ご聴聞に来院ください。
席の間隔を保ち、換気実施の上、お待ちしております。

本願寺小樽別院

『ここころの防犯カメラ』

数年前、ニュース番組でこんな報道がありました。

四国に八十八箇所巡りというのがあります。いわゆるお遍路さんというものです。真言宗の開祖である弘法大師空海上人ゆかりの寺院を巡礼することで毎年多くの巡礼者が訪れます。

そこで最近賽銭泥棒が横行しているというのです。お遍路さんに限らず寺院というものはお参りされるかたを信じておりままでの、よもや賽銭泥棒がいる

なんて思つてもおりません。このようなことが起ころのはなんとも寂しい限りです。

その報道の中で、あるお寺のご住職が「うちのお寺も賽銭泥棒に入られて大変困ったことになりました。多くの方々が熱心にお参りされる中、心無い人の行為で参拝される方を疑わなければならぬのは残念ですが、うちも防犯カメラをつけることにしました。昔から私たちには防犯カメラがついていたのですが、そのカメラは最近は機能しなくなってしまったようで、どう本当の防犯カメラをつけ

なくてはならなくなつてしまひました：」と、おっしゃつていました。

ご住職がおっしゃつていた私たちについていた防犯カメラとはどのようなカメラだと思いますか？

昔の人は「そんなことをしたら、ご先祖様に申し訛ない」とか「悪いことをしたら神様や仏様が見ているんだ」とか言つたものでした。私も子供の頃、悪いことをしたら本堂につれていかれ「仏様が見ているんだぞ」と言われたことを思い出します。昔の人は目に見えない存在を

畏れ、敬う心がありました。ですが今の人には悪いことをしたことがわかれれば罰を受けるという感覚の方が強いような気がします。極端に言えば、悪いことも見つかなければいいだろう、ということです。先程のご住職が言いたかったことはこういうことなんだと思います。昔は心の防犯カメラ、すなわち申し訛がない心、恥じる心があつたのに最近はそのような心が薄れてきてしましました。自分の都合のいいように考へがちで、自分しか見えていない。だから本当の防犯カメラを付けざるをえなく

なつてしまふ。今の世の中には機械の防犯カメラばかりが機能している世の中なのでしよう。

人と人とのお互いに信用することが難しい世界はなんとも寂しいことだと思いませんか。

仏様はそのような私たちをいつも見ておられます。

本当の防犯カメラは仏様の智慧のカメラです。どうぞ皆様の心の防犯カメラをもうすこし機能させてみませんか。



今日のこの縁は

初事と田舎アベレ

今日のこの縁は

我一人のためと思ふべし

今日のこの縁は

今昔最後と思ふべし

島光大船